

富士市立高等学校 学校運営協議会		第25回	会議要旨 (令和3年度)
開催日 令和3年6月14日 月曜日 開 会 18時30分 閉 会 20時30分	会議場 富士市立高等学校 2階 PIRルーム *オンライン併用での開催		
出席者 【学校運営協議会委員】 茅原 由美 小泉 彩子 佐野 明 塩田 真吾 寺内 誠一 畑 隆 畑 裕美 深澤 秀文 岩田 享 【オブザーバー】 宇佐美 壽英 花崎 武彦 齋藤 文徳 *敬称略			
開会			
教育長挨拶 <ul style="list-style-type: none"> ・公私ともにお忙しい中、学校運営協議会委員をお引き受けいただき、心より御礼を申し上げたい。 ・市立高校の近年の活躍というのは本当に目を見張るものがある。探究学習では、田子の月とのコラボ商品の開発や御朱印をイメージした御札の作成等、新たな価値を創造していく力が求められる時代において、市立高校が進める探究は非常に意味ある活動を行っている。 ・部活動や学校行事の面でも、コロナ禍にありながら目標に向かって一生懸命頑張る生徒の姿に、未来への希望を切り開こうとする若者の力強さを感じる。 ・市立高校は平成25年度に学校運営協議会を設置し、保護者、地域とともに、コミュニティスクールとしての歩みを進めてきている。開校11年目を迎え、さらなる学校の発展に向けて、委員の皆様から忌憚のない意見を伺いたい。 			
学校長挨拶 <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会委員、オブザーバーの職をお引き受けいただき、学校を代表して厚く御礼を申し上げたい。 ・新年度においてもコロナウイルスの影響は少なくないが、対策を十分に行い、今日まで教育活動を行ってきた。 ・部活動では東海大会に5つの部活が出場する等、例年以上の活躍が見られている。 ・昨年開校10年目を迎え、有識者会議を計4回行ってきた。この振り返りの結果を受け、今年度から「学校未来プロジェクト」を動かしていく。 ・ホームページも刷新して見やすくなった。更なる学校広報にも努めていきたい。 			

委員、オブザーバー、市立高校職員紹介

会長、副会長選出

- ・会長に畑委員を選出。副会長は会長の指名で岩田委員を選出。

会長挨拶

- ・引き続き会長を務めるということで身が引き締まる思いがしている。
- ・現在のコロナ禍で、大学でもいかに教育を途切れさせないかということで努力を続けている。市立高校においてもコロナ禍の中で大変な苦労を続けている。
- ・学校運営協議会としても、コロナ禍に負けず、市立高校の教育の発展に貢献していけたらと思っているので、委員の皆様のご協力をお願いしたい。

議事の概要

学校からの報告

◇「学校未来プロジェクト」について

- ・学校改革・魅力化、I R 推進、I C T 推進、学力向上・進路実現、部活動活性化の5つのプロジェクトを立ち上げた。若手からベテランまで自由に意見が出て、それを実行に移すということを目指している。
- ・学校改革・魅力化プロジェクトでは、改革実施計画の策定や学科の魅力化、広報戦略の検討と実施に取り組んでいる。学校を魅力化してP R し、最終的には多くの生徒に本校を目指してもらおう形へと進めていきたい。
- ・それ以外の各部門についても、本校が目指すべきところをしっかりと実行していく姿勢で取り組んでいきたい。

◇探求学習に関する報告（アンケート結果等）

- ・本校ではC D I というコンセプトの下、探究学習に力を入れている。11年目を迎え、学校全体での探究の推進を目指し、これまでの中心的な活動である究タイムや学科研修を土台としながら、探究学習をさらに広げていきたい。
- ・実際、既に各教科で探究学習が展開されており、社会探究β、商品開発、人文探究、スポーツ探究科の授業で、社会とつながる学びを通じた探究学習が行われている。
- ・探究の効果の可視化について、昨年度から学びみらいP A S S という試験を使いながら、生徒の力が身に付くかどうかをアセスメントする取り組みも始めている。
- ・究タイムについては、探究が全国的に広まる中で問い合わせも多い。ここで本校の授業案やワークシートを公開して、多くの学校と交流を持ちながら、お互いに切磋琢磨しあえる方向を模索したい。
- ・1年生の究タイムでは、Googleアプリの活用を始めている。探究学習でもI C T を積極的に活用していきたい。

◇令和2年度卒業生進路報告

- ・昨年度卒業した8期生はコロナでの休校や入試改革と重なる中で、生徒の頑張りや個別指導での指導により、例年通りの結果が出せたと思っている。
- ・就職は、試験がコロナの影響で1か月後ろになるなど、対応が難しい中でも、全員内定をいただくことができた。

- ・今年度の3年生も2年生の段階でオープンキャンパスに参加できていない。校外での活動に制限があり、海外探究研修も中止になり、なかなか武器となるものがない。そうした状況だが、これから進路に向けて頑張らせていきたい。

◇部活動報告

- ・昨年度の前半は大会がなかなか実施されなかったが、新人戦以降は多くの大会が実施され、ゴルフ部が全国大会に出場して11位、チアリーダー部も全国大会に出場する等、素晴らしい結果を残すことができた。
- ・令和3年度は、保護者や教員も応援に行けない状況ではありますが、大会は実施されており、現時点で、柔道部が個人2名と女子団体、陸上部も3種目で選手2名、水泳部が飛び込みで1名、剣道部、なぎなた競技個人が東海大会出場を決めている。
- ・昨年度全国大会に出場したゴルフ部の生徒は、夏の全国大会に出場が決まっている。

学校からの報告に対する質疑応答

(質問・意見等)	・進路状況の資料で、4年生大学の部分に海外の項目があるが、希望はあるのか。
(回答)	・年度によっては海外の大学に行く生徒もいる。海外探究研修でボストンへ行ったりすることで希望を持つ生徒が出る。
(質問・意見等)	・究タイムのアンケート結果で、「自分は地域や社会から必要とされていると思う」の数値が徐々に上がってきているが、何か工夫しているのか。
(回答)	・地域と関わる機会が多いので、そうしたことで伸びてきているのではないかな。
(質問・意見等)	・進路状況で4年生大学の総計が105人。これまでは90人台だったが、それが100人を超えている。今回4年制大学への進学者が増えたという背景、理由はあるか。
(回答)	・8期生は入学当初から志の高い生徒が多かったので、こういう数になったのではないかな。
(質問・意見等)	・自分の子どもが高校進学する際、市立高校は先生たちが熱心ですごく良いと聞いていた。今の子どもたちはコミュニケーションが不足しているという課題もあるので、高校でこれだけ先生たちや地域の方々と関わって授業をしているのは素晴らしいと思う。
(質問・意見等)	・進路状況の未定者は、学校は卒業したが、その先どこに行くか分からないということか。
(回答)	・進学準備の予定だったが、コロナ禍も影響して「進学準備」とは言えない状況になってしまったので、今回は未定ということになった。
(質問・意見等)	・市立高校の取り組みが他校と比較して正直どうなのか。
(回答)	・各学科で非常に特色のある取り組みを行っている。探究科をメインにして、社会問題や答えのない課題を解決している。コミュニケーション能力や踏み出す

	<p>力、チャレンジする力を育てるところに力を入れている。そこは他校とはかなり違うのではないか。一方で、それをいかに保護者や中学校に伝えるかというのが課題になっている。</p>
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際、他校に比べて社会とつながる機会は多く、昨年度はコロナ禍でもオンラインを活用する等の工夫をしながら、できるだけ経験させることを重視してきた。その部分は他校とは大分違うと考えている。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを通わせていて、実際に体験させる部分や社会に出た時に即戦力で使えるようなコミュニケーション力、プレゼン力の指導は他校と違うと感じている。ただ、保護者になかなか伝わっていないというのも事実である。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年からコロナの影響で海外研修ができていないが、それに代わるものをどう考えているのか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年は 10 月に代替研修を予定しており、総合探究科は大分県の立命館アジア太平洋大学、ビジネス探究科は長崎県、スポーツ探究科は石垣島を研修地として準備をしている。それぞれグローバル、経営、マリンスポーツをテーマに研修を計画している。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11 年目を迎える現在のミッションに興味深く拝見した。特に課題発見力が低いということで、問題解決型の授業をいかにやっていくかが一つの鍵だと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 年次末調査のアンケートで、他の期生に比べて 8 期生の数値が異様に高く、突出している項目が結構ある。これは元々そうなのかと思って、1 年次の時の 8 期生を見ると別にそうでもない。ということは 2 年生、3 年生でかなり伸びたということになるが、8 期生だけ特にこの年代はすごく上がったというのは何か理由があるのか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ明けに多くの生徒と面談をしたが、休校期間に自分で大学等を調べていた様子が伺えた。担任が Z o o m で進路意識を日々伝えていたこともあると思うが、休校期間中に自分で動いていたことがつながっているのではないかな。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士市立高校は探究学習を 10 年間もやっているのだから、やはりそこを売りにしていくべき。それが中学校側に伝わっていないとなると、それは大きな課題だと思う。財務局との協働プログラムや商品開発、スポーツ探究の授業等もやっているのだから、その具体的な説明というのが生徒募集には大事だと感じる。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校、中学校は新学習指導要領が始まり、県下の中学校の校長先生へのアンケートでは「中学校では探究をやっているのに高校はまだですね」という回答が見られる。それは富士市立高校にとってはメリットで、そこを中学校側に伝えていく必要があると思う。

(質問・意見等)	・探究活動や部活動、学校行事の中で、皆で協力して課題解決をやっていくことは、自分の外側にある壁を打ち破る力を育てることにつながる。それを富士市立高校がやっていることをもっとアピールすべきだ。
(質問・意見等)	・究タイムアンケートの8期生の結果に注目したい。過去の1期生からの変化を見ていった時に20ポイント以上上がっているところが15項目ある。また、「人の役に立てる人になりたい」、「異なる立場や考えを受け入れ、理解しようと思う」、「お互いの良いところや違いを認め、協力することができる」という社会性の部分の数値が非常に高い。市立高校が本当に良い方向に進んでいるということを感じることができた。
(質問・意見等)	・究タイムアンケートの8期生が高いというのがとても興味深い。ここはやはりしっかり分析しておいたほうがよい。学力等の相関もあるという感じはするが、その辺をもう少し詳しく、特に8期生の状況についてどんなことをやってきたかを振り返ってほしい。全体的に上がっているが、8期生だけ特に上がっているというのはとても興味深い。
(質問・意見等)	・探究学習の報告があったが、他校は富士市立高校が10年前に苦労されていたことを今苦労していることから、本当にトップランナーだと感じる。11年目を迎える現在のミッションも非常に高度である。究タイムの進化のために授業案を公開するということが、他校に見せてしまうことに逡巡はなかったのか。
(質問・意見等)	・2年生と3年生の発表会を聞いて、富士市立高校というのは素晴らしい教育をしていると心が動いた。あれをいろんな方にもっと見てもらえるようにできたらいいのではないかな。

「令和3年度学校経営計画」の説明

- ・教育目標「自律する若者～未見の我を探そう～」と4つの重点目標は変更しない。
- ・経営計画のア「生活及び学習習慣の確立」では、「平均90分以上の家庭学習」に成果目標を変更した。これは多様な進路や部活動等を考慮し、3学科一律で取り組める目標に変えた。
- ・「週に5日以上家で勉強している生徒」の割合は60%を目標（昨年度56%）とする。
- ・「観点別評価の研究」や「新教育課程の見直し」については、県総合教育センターに研修をお願いしたり、県教育委員会と相談したりしながら現在進めている。どこの学校も苦慮している。
- ・経営計画イには、「週3日以上午後8時以降に残留する職員の減少」や「いじめと体罰の防止対策」を挙げている。本校の生徒の80%が自転車通学ということもあり、「交通街頭指導の実施」にも力を入れていきたい。
- ・経営計画ウでは、昨年度の「学校で勉強した内容をきっかけにもっと知りたいと思うことが増えた」を「学校での学びをきっかけに、さらに学びたいと思う」に変更した。（昨年文言では）分かりにくいという意見をいただいたことが変更の理由。

- ・「資格取得の奨励」については、進路実現にも関わってくる。同窓会で応援したいということで今年度から支援をしていただくことになっている。
- ・「学校未来プロジェクト」については、もう1回全国のトップランナーとして走っていきたいという思いを持っている。「改革実施計画」も学校未来プロジェクトで作り直す。
- ・経営計画工「代替研修の充実」については、先程の報告の通り。本校は修学旅行ではなく、探究研修として行うので、そのように代替研修も計画している。
- ・経営計画オ「学校運営協議会の提言が学校運営に反映されていると回答する委員」の割合を80%から90%に変更した。できるだけ皆様の意見を学校運営に活かしていきたい。
- ・「学校見学会、相談会の実施」では、去年はコロナでできなかった部分もあった。今年は年14回に増やして実施していく。中学校での出前説明会も実施したいと考えている。

「学校経営計画」に対する質疑応答

(質問・意見等)

・保護者から女子のサッカー部があれば市立に行きたいという話が出ている。そういうところから生徒の確保に繋げるのはどうか。

(回答)

・現時点では、男子サッカー部、女子サッカー部というのはない。以前も女子が1人いたが、それもサッカー部の中で女子も受け入れるということでやっていた。現在も女子がいるが、サッカー部の中に女子がいるという感じになっている。

(質問・意見等)

・部活動というのは大きな魅力の1つなので、この地域には女子のクラブチームもありますので、地元を受け皿があるということはとても大きなことだと思う。

(質問・意見等)

・なかなかPRしていることが中学校や保護者に届かない、生徒に届かないという部分では、やはり実際に通っている子供たちの声というのが大きい。生徒あるいは生徒の保護者から口コミで学校の良さがPRされると良いと思う。

(質問・意見等)

・不登校のことで、「生徒一人も取り残さない」というのは簡単ではないと思うが、ぜひそうした意識を持って、全ての生徒を大事にしていただきたい。市立高校に入ってよかったと全員の生徒に思ってもらいたい。

(質問・意見等)

・「学校未来プロジェクト」は非常に楽しみだが、こうしたことを新たにやるというのは先生方の負担が大きくなるのではないかと。先生方の負担をなるべくかけない形で効率よく行ってほしい。

(承認)

→「令和3年度富士市立高等学校学校経営計画書」

・本日出された意見は、令和4年度教育方針の原案作成の参考としていただきたい。

次回日程について

閉会